

令和8年3月6日

愛南町議会

議長 吉田 茂生 殿

総務文教常任委員会

委員長 鷹野 正志

所管事務調査報告書

総務文教常任委員会の所管事務の調査を実施したので、愛南町議会会議規則第77条の規定により、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

《第1回》

- 1 日時 令和7年8月21日(木) 午後1時30分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(7名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、
中野光博
- 4 調査事項
廃校施設の利活用について
- 5 説明員の職及び氏名
総務課 課長 濱 哲也、同課長補佐 宮下健博、同主査 田中雅宏
学校教育課 課長 坂本一利、同主幹 池田大作、同専門員 吉本忠司、
同課長補佐 二神裕暁
- 6 調査内容
総務課、学校教育課から愛南町の廃校施設の利活用について資料提供と説明を受け、現状と課題について調査した。

《第2回》

- 1 日時 令和7年9月3日(木) 午後2時42分から
- 2 開催場所 議員協議会室

- 3 出席委員(7名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、
中野光博
- 4 調査事項
廃校施設の利活用について
- 5 調査内容
期間内に結論が出せないため、継続審査とすることに決定した。
町内全ての廃校施設を現地調査することになった。

《第3回》

- 1 日時 令和7年9月30日(火) 午後1時00分から
- 2 開催場所
魚神山小学校、魚神山小教員住宅、家串小教員住宅、内海中学校、
内海中学校教員住宅
- 3 出席委員(7名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、
中野光博
- 4 調査事項
廃校施設の利活用について
- 5 説明員の職及び氏名
学校教育課 課長 坂本一利、同主幹 池田大作、同専門員 吉本忠司
同主事 岡崎龍輝
- 6 調査内容
現地で説明員から現在の利用状況等の説明を受け、町内の廃校施設につい
ての認識を深めた。

《第4回》

- 1 日時 令和7年10月6日(月) 午後1時00分から
- 2 開催場所
武者泊小学校、福浦中学校、福浦小教職員住宅、船越小教職員住宅、
中浦教職員住宅、中浦小学校
- 3 出席委員(6名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、石川秀夫、金繁典子、中野光博
- 4 欠席委員(1名) 吉田茂生
- 5 調査事項
廃校施設の利活用について
- 6 説明員の職及び氏名

総務課 課長 濱 哲也、同課長補佐 宮下健博、同主査 田中雅宏
学校教育課 課長 坂本一利、同主幹 池田大作、同専門員 吉本忠司
同主事 岡崎龍輝

7 調査内容

現地で説明員から現在の利用状況等の説明を受け、町内の廃校施設についての認識を深めた。

《第5回》

- 1 日時 令和7年10月15日(水) 午後1時00分から
- 2 開催場所 東海小学校、一本松小・中教職員住宅、篠山小教職員住宅、篠山中教職員住宅、僧都小・中学校、長月小学校、久良小学校、西海中学校
- 3 出席委員(7名) 鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、中野光博
- 4 調査事項 廃校施設の利活用について
- 5 説明員の職及び氏名 学校教育課 課長 坂本一利、同主幹 池田大作、同専門員 吉本忠司
同主事 岡崎龍輝
- 6 調査内容 現地で説明員から現在の利用状況等の説明を受け、町内の廃校施設についての認識を深めた。

《第6回》

- 1 日時 令和7年10月30日(木) 午前11時00分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(7名) 鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、中野光博
- 4 調査事項 廃校施設の利活用について
- 5 説明員の職及び氏名 総務課 課長 濱 哲也、同課長補佐 宮下健博、同主査 田中雅宏
学校教育課 課長 坂本一利、同主幹 池田大作
防災対策課 課長 上田耕平
- 6 調査内容

総務課、学校教育課、防災対策課から愛南町の廃校施設の利活用について、資料提供と説明を受け、現状と課題について調査した。

期間内に結論が出せないため、継続審査とすることに決定した。

《第7回》

- 1 日時 令和7年11月25日(火) 午前11時30分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(7名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、中野光博
- 4 調査事項
廃校施設の利活用について
- 5 調査内容
先進地視察に行くことに決定した。

《第8回》

- 1 日時 令和7年12月25日(木) 午後1時30分から
- 2 開催場所 議員協議会室
- 3 出席委員(6名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、金繁典子、中野光博
- 4 欠席委員(1名) 石川秀夫
- 5 調査事項
廃校施設の利活用について
- 6 調査内容
先進地視察先を決定した。

《第9回》

- 1 日時 令和8年1月29日(木) 午後1時00分から
- 2 視察地
徳島県三好市
- 3 出席委員(6名)
鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、
- 4 欠席委員(1名) 中野光博
- 5 調査事項
廃校施設の利活用について
- 6 三好市の出席者の職及び氏名
副議長 中 耕司

企画財政部地方創生推進課 課長 石川 浩、同主任主査 岡 優子
議会事務局次長 岡本 孝

7 随員員の職及び氏名

学校教育課 課長 坂本一利

議会事務局 局長 土居章二、同主幹 尾川美保

8 視察内容

三好市地域創生推進課職員から三好市の廃校活用事業について説明を受け、実際に活用されている現地を見学し、先進事例についての認識を深めた。

《第10回》

1 日時 令和8年2月5日(木) 午前11時10分から

2 開催場所 議員協議会室

3 出席委員(6名)

鷹野正志、田中純樹、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子

4 欠席委員(1名) 中野光博

5 調査事項

廃校施設の利活用について

6 調査内容

先進地視察について委員からの意見を聞き、取りまとめを行った。

調査結果報告

当委員会は、廃校施設の利活用について調査研究結果を取りまとめたので、報告する。

(1) 現状及び背景

本町では、少子高齢化や人口減少の進行に伴い、学校施設の統廃合が進んでいる。これに伴い、教員住宅を含む廃校施設の有効活用は、喫緊の課題となっている。廃校施設は、これまで地域の教育・交流の拠点として機能してきた重要な公共資産であり、適切に利活用することは、単なる財産管理に留まらず、地域の活性化や住民福祉の向上に大きく寄与するものである。こうした背景のもと、総務文教常任委員会では、町内の現地視察および先進地である徳島県三好市への視察を通じて、廃校施設等の管理・活用の在り方について調査・検討を行った。以下に、委員会での意見交換を踏まえた調査結果をまとめる。

(2) まとめ

町内の視察においては、校舎内に机、椅子、教材、楽器等の備品が放置されている実態が確認された。これらは公共の財産であり、廃棄の危険を避け

るためにも、早期に適切な方針と具体的な体制を整え、効率的かつ透明性のある対応が必要である。特に、事前復興計画の対象でもある旧西海中学校などの避難施設については、待ったなしの状況にある。また、教員住宅についても、居住実態がほとんどない現状を踏まえ、耐震性や老朽化、維持管理コストを精査し、行政財産から普通財産への切り替えや、除去・売却・賃貸といった実態に即した大胆な整理が急務である。

先進地の三好市では、横断的な調整機能を持つ担当係が「廃校等施設活用推進委員会」を設置し、一元的な管理体制を構築している。民間事業者への無償貸与を含む積極的な支援により、廃校 28 校中 11 校で業者が事業を展開し、約 90 人の雇用創出を実現している。本町においても、複数の課にまたがる現状の課題を解消し、戦略的・一体的な活用を推進するための組織体制の整備が不可欠である。

以上の調査結果を踏まえ、今後の施策の方向性として、以下の事項を提案する。

- ① 学校備品の適切な管理と有効活用の徹底
- ② 教員住宅の現状把握と実態に即した資産整理
- ③ 横断的な調整機能を持つ専門部署・係の設置検討
- ④ 民間活力を導入した利活用計画の策定と地域活性化

本委員会の調査を通じて、廃校施設の利活用が町の将来像を左右する重要な政策であることが再確認された。今後、町の施策を検討される際には、本報告の内容を反映し、計画的かつ実効性のある創意工夫に富んだ取り組みが進められることを強く要望する。

以上、総務文教常任委員会の意見を集約した調査結果報告とする。